



合併協議会だより

発行・編集／相模原市・城山町合併協議会、相模原市・藤野町合併協議会
〒229-0036 神奈川県相模原市富士見6-6-23 けやき会館3階 ☎042-769-8206

合同発行

第4回相模原市・城山町合併協議会 第8回相模原市・藤野町合併協議会 合同会議を開催

平成19年1月17日(水)午前10時から、けやき会館5階大樹の間において、第4回相模原市・城山町合併協議会・第8回相模原市・藤野町合併協議会合同会議が開催されました。



報告事項

- 報告第13号 平成18年度相模原市・城山町合併協議会事業報告について
- 報告第15号 平成18年度相模原市・藤野町合併協議会事業報告について

平成18年12月31日現在で取りまとめた協議会の事業報告(会議の開催、合併準備の推進、広報の実施等)があり、承認されました。

- 報告第14号 平成18年度相模原市・城山町合併協議会決算見込について
- 報告第16号 平成18年度相模原市・藤野町合併協議会決算見込について

平成18年12月31日現在における平成19年3月10日時点の協議会の決算見込(相模原市・城山町合併協議会：歳入決算見込額 4,000万円 歳出決算見込額 3,158万8,027円 差引額 841万1,973円、相模原市・藤野町合併協議会：歳入決算見込額 2,200万円 歳出決算見込額 1,854万1,521円 差引額 345万8,479円 差引額は、相模原市に繰り入れ)の報告があり、承認されました。(決算見込の内容は、4面をご覧ください。)

- 報告第15号 相模原市・城山町合併協議会の廃止について
- 報告第17号 相模原市・藤野町合併協議会の廃止について

相模原市、城山町及び藤野町は3月11日に合併するため、その前日である3月10日をもって相模原市・城山町合併協議会と相模原市・藤野町合併協議会を廃止することなどの報告があり、承認されました。

- 報告第16号 総合的な事務所及び地域自治区等について
- 報告第18号 総合的な事務所及び地域自治区等について

第4回相模原市・城山町合併協議会	合同会議を開催・・・	1面
第8回相模原市・藤野町合併協議会	合同会議を開催・・・	1面
新「相模原市」誕生までのあゆみ	・・・	2、3面
合併協議会からのお知らせ	・・・	4面

合併後の城山町と藤野町に設置される「総合的な事務所の名称と行政組織」や「地域自治区事務所と地域協議会」の概要の報告があり、承認されました。

その他

合併記念式典等の実施、暮らしのガイドブックの発行、新宿における新相模原市誕生PRキャンペーンについて、事務局から説明がありました。(内容は3、4面をご覧ください。)

アドバイザーからの一言

皆様のご協力により、合併に向けての道筋ができあがりました。色々ありましたので、「やっとここまでできた」というのが、多くの皆様の実感ではないかと思えます。合併後の新市のまちづくりは、これがスタートです。新合併特例法の期限内に政令指定都市となることのできるように、着実にこれからのまちづくりを進めていただきたいと願っております。

牛山アドバイザー

会長、副会長をはじめ委員の皆様におかれましては、長い間の議論により、この日を迎えることができ、感慨深いのではないかと思います。

また、3月の合併のスタートに向けては、さらに様々な議論があるかと思えます。

引き続き、自治体を取り巻く環境は、非常に厳しく、社会経済環境の変化や厳しい財政事情などに対応できる自治体づくりを進めるとともに、今回の合併により、自治体が大きくなった分、地域自治区の設置などにより、住民に身近な行政としての課題の解決に取り組んでほしいと思えます。

また、合併後の新市では、政令指定都市への移行も見据えた中、様々な課題が生じるとは思いますが、今後とも頑張ってもらいたいと思えます。

閉会のあいさつ

○小川会長(相模原市長)



相模原市と津久井郡各町との合併協議につきましては、平成15年7月の津久井郡4町長からの合併協議の申し入れを契機として、5つの合併協議会を設置し、協議を重ねてまいりました。今日まで、本当に色々なことがございましたが、4町長の合併に対する熱意とご英断のもと、協議会の委員の皆様やアドバイザーの先生方をはじめ、各市町の議会、住民の皆様、県をはじめとした関係機関の皆様など多くの方々のご理解とご協力をいただき、ようやくここまで辿りつくことができたものと考えております。本日の合併協議会をもちまして、すべての合併協議を締めくくることになり、当初の目標としておりました相模原市と津久井郡4町との合併が、来たる3月11日に、完結することとなります。この合併により、誕生いたします新「相模原市」は、人口が、70万を超え、面積が、328.84平方キロメートルと、県内では横浜市に次ぐ2番目の広さとなり、「都市的な機能」と「水源地域としての豊かな自然」を兼ね備えた政令指定都市への移行も視野に入る「大きな都市」となるものでございます。今後は、津久井地域の豊かな自然、文化、歴史などを活かし、「都市的な機能」との融合が図られるまちづくりを進めていくため「新しい総合計画」の策定を進め、市民の皆様が合併に託された「夢」と「期待」に応えられるよう共に手を携え、共に考えながら首都圏における広域交流拠点都市として新たな目標へ向かって、邁進し、魅力あふれる新「相模原市」の未来を築いてまいりたいと考えております。皆様には、これまでの多大なるご協力に心から感謝を申し上げますとともに、新「相模原市」に、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

○八木副会長(城山町長)



相模原市との合併協議につきましては、紆余曲折を経てまいりましたが、小川市長をはじめ、市議会議員の皆様、協議会委員の皆様、アドバイザーの先生方のご協力を賜り、すべての協議が調い、3月11日の新市誕生を迎えられますことは、誠に感無量であり、心から皆様方に感謝申し上げます。3月10日には、藤野町と共に城山町を閉じ、2町の区域を含めた新市の市政を小川市長に付託致します。70万人超の大都市となる新相模原市を、市民の負託に迅速かつ的確に応えていくとともに、真に自立し責任をもってまちづくりを進めていくため、さらなる権限と財源を持ちうる政令指定都市への早期移行に向けて取り組んでいただきたいと思います。協議会委員の皆様方におかれましては、旧市町の住民の融合を目指し、新市のまちづくりにおいて、さらなる発展に向け各分野でご尽力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

○鈴木副会長(藤野町長)



本日の協議会が、協議を締めくく最後の会議となりました。これまでの間、小川市長をはじめ、委員の皆様や関係者の皆様からの、多大なるご理解とご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。振り返りますと、藤野町では、本日に至るまで、紆余曲折がありましたので、関係市町、県、他の合併協議会の皆様にご心配とご迷惑をおかけいたしました。ようやくこの日を迎えることができました。合併後の新市においては、藤野町の持つ豊かな自然と相模原市の持つ強い財政力、若い力を融合した新しい都市づくりが踏み出せばと願うものであります。新市の将来像である「自然と産業が調和し、人と人がふれあう活力ある自立分権都市 相模原」の実現に向け、関係者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、新・相模原市が、輝かしい未来を迎えることを真に祈願したいと思います。